

## Afterword

David V.B. Britt

担当：吉田 成枝&上田信行（甲南女子大学）

当時、テレビ番組の開発にリサーチを取り入れようという試みは、とても新しい感覚であり、関係者にとってはストレインジなアイデアですらあったが、深く根付いたワークショップ文化の中で研究され、リサーチがあったからこそ、有用で有効な番組が作成された。

リサーチは30年前に比べ、今日さらに重要である。（なぜなら、いろんな国、文化を横切り、多数のメディアをナビゲートするため。）セサミストリートは国内のテレビ番組として始まり、世界のメディアのように位置づけられるようになった。（本、雑誌、ビデオ、フィルム、録音カセットおよびCD、CD-ROM、双方向のオンライン、ライセンスを取得した製品を含む。）これらすべては、ニーズや子どもの学習スタイルに重きをおいた研究によって広められた。

このように、リサーチこそが世界中のセサミストリートの有効性を確かなものにした。数年にわたって、セサミストリートは150ヶ国で視聴された。また、ローカルパートナーとの19の国際的な共同製作が、ローカルニーズに役だった。これらもすべて、リサーチによって維持された。

視聴者に余計なもの（主題またはアクションとは関係のない、故意でない信号、良くない、間違っているメッセージなど）を与えないためのリサーチが、番組をどのように確立したかに関する多くの逸話がある。

例えば、私たちが"離婚"に関する番組を延期した話。私たちがどんなに注意して描いても、多くの子供がまだ抵抗を感じたことにより、セグメントを作ったにもかかわらず、変更されたことがある。

リサーチは、

- ・最終的に番組制作とは反対側（内容変更）にも導いたり
- ・脚本が書かれる前に方向とsensitivityを加え
- ・子どもの興味、可能性に役立つために注意を払い続けながら、脚本を再調査し、番組を制作するためのもの。

事実、どれだけのリサーチが我々の決定の手助けとなったか。（何を番組に加味するか、子供のアテンション、子どもの学習意欲を促進するものは何か等。）

私たちにとって、リサーチは、実用的な必需品（成功の継続のための重大なkey）である。それについては、この収集に寄与した個人および、多くの同僚に感謝したい。それだけでなく、セサミストリートの成功の助けとなり、発明された知識、知力、経験は、世界中の子どものためのメディアの質を上げた。

今日、子ども向け番組の種類、子供が使用する新しい技術には、めざましい変化がある。これらの技術のどれが、将来を、マスメディアを支配するか、必ずしも明示することができない。しかし、そのかたちは何であれ、子どもの人生でパワフルで、常に成長する役割を果たし続けるであろう。そして、最も重要なことは、子どもの成功への助けとなるために構成的なメディアの使い方を見つけること、きわめて重要なツールとしてリサーチと密接に関わることである。

30年後にこの本の「second edition」が出版されるときには、もちろん世界は変わっているだろうが、子どもの学びにとってのメディアの影響やリサーチの役割を強調し焦点をあてていることはまちがいが無い。

## 著者紹介(上田先生が実際にお会いした方々)

### **Daniel R. Anderson**

マサチューセッツ大学アーモスト校の心理学教授。

セサミストリートの番組セグメントを使って「attention (こどものテレビへの注視)」の研究を行った最もパワフルな研究者。

### **Lewis Bernstein**

セサミストリートの研究・ディレクターを10年近くもひきうけ、最近プロデューサーとして手がけた、セサミのイスラエル/パレスチナ共同制作プロジェクトでは世界の注目を集めた。

### **Joan Ganz Gooney**

CTW創始者。セサミストリートの発案者であり、1990年までCTW社長兼CEOをつとめた。

### **Gerald Lesser**

ハーバード大学教育大学院名誉教授

1968年からCTWに加わり、1996年までアドバイザリーボードの委員長をつとめ、教育目標のデザインなど、セサミのあらゆる側面に助言を与えた。みんなからジェリーと呼ばれ親しまれている。国際ショナル・コプロダクションには多大の貢献をした。

### **Keith W. Mielke**

インディアナ大学時代にCTWのセサミストリートとエレクトリック・カンパニーのフォーマティブ・リサーチ・メソッドに関する研究を行い、それがきっかけ(たぶん)で1977年にCTWに加わった。1995年まで、リサーチ中心に活動を行い、10年以上もリサーチ担当副社長をつとめた。

### **Edward L. Palmer**

初代CTWリサーチ担当副社長と初代セサミストリートの研究・ディレクターをつとめた。CTWの活動以外にWorld Media Partners社長など、30年以上も「こどもとメディア」の研究や実践に貢献した。ディストラクター・メソッドなどフォーマティブ・リサーチの方法を開拓したパイオニア。